全国病児保育協議会のホームページ　http://www.byoujihoiku.ne.jp

全国病児保育
協議会
広報委員会

# 病児保育協議会ニュース

＝今号の目次＝

１頁　協議会メール
第１９回全国病児保育研究大会会頭挨拶
２頁　厚生労働省訪問報告
３頁　加盟施設紹介
社会福祉法人岩手愛児会たんぽぽ病児保育所
のぎく保育園ケアルーム菜ずな
４頁　支部便り　北東北ブロックから①
５頁　支部便り　北東北ブロックから②
TOPICS　終了票を持参下さい
第１９回病児保育研究大会 in 千葉の御案内
６頁　広報委員会からのお知らせとお願い
病児保育協議会発行の書籍紹介
全国病児保育協議会新規加入の施設

## 協議会メール
## 第 19 回全国病児保育研究大会会頭挨拶

第１９回全国病児保育研究大会　会頭　佐藤　好範

第 19 回全国病児保育研究大会 in 千葉（平成 21 年 7 月 25、26 日開催）まで 1 月あまりになりました。多数の演題をいただき、抄録集も完成しました。間もなくお手元へお届けできることと思います。本研究大会のテーマを「連携の中から明日が見える－安全で安心の病児保育を育てよう－」としました。

病児・病後児保育は、医師、看護師、そして保育士の専門家の集団により、子どもたちに最良の環境を提供する究極の子育て支援を理想と掲げております。さらに医療と保育の接点でもあり、子どもの家庭と保育所・園そして病児保育が連携をとってはじめて、子どもたちの健康と健全な成長が保証されると思います。

本研究大会では、『連携』をキーワードに病児保育を中からそして外から見て考えるシンポジウムを計画しました。子どもたちに安全な環境を提供するために、教育講演として、事故防止について山中龍宏先生、発達障害の子どもとの接し方について永沢佳純先生にご講演をお願いしました。

そして、安心の環境を提供するために保育の心と技術を高めることも重要と考え、特別講演として絵本の読み聞かせから子どもと両親に対して温かい声援を送っていらっしゃる内海裕美先生、リズム音楽を通して子どもたちに笑いと元気を与える活動をされているカムジー先生こと加村柾弦さんにご講演をお願いしました。

協議会の研修委員会のご尽力で、今年も充実した基礎研修、ステップアップ研修が用意されており、そのほか調査研究委員会、広報委員会からも会員の皆様へ情報が満載です。また施設長を対象にした、施設長懇談会を 26 日（日）午後に予定しております。協議会役員の藤本保先生、二宮剛美先生、稲見誠先生をコメンテーターに、本音を語る時間もあります。施設長の皆様、どうぞ第 3 会場（3024）にお集まりください。

さらに、すでに定員に達してしまい、多くの皆様をご案内することができず、大変申し訳ありませんが、少人数で学ぶ参加型ワークショップも企画しております。参加申し込まれた方は、是非お帰りになりましたら、勉強されたことをお仲間へもお伝えいただければ幸いです。

幼稚園・保育園の現場で活躍されている先生から「実験遊び」を中心に保育実技を学ぶワークショップ、ロールプレイを使って保護者の心に届く話し方や対応の仕方を学ぶワークショップ、ちょっと気になる子どもとの接し方について事例討論するワークショップです。その他ＶＰＤ（予防接種で防げる病気）、食物アレルギーの話をランチョンセミナーとしてお届けします。

例年より半日短い日程となりましたが、中身の濃い研究大会になっていると思います。事前登録をなさらなかった方も、当日の受付がございます。お一人でも多くの方に参加していただければ幸いです。実行委員はじめスタッフ一同、心より皆様のご参加をお待ち申し上げております。皆様、千葉でお会いしましょう。

**第１９回全国病児保育研究大会は当日参加も可能です**

# 厚生労働省訪問報告

全国病児保育協議会　副会長　原木　真名

平成21年４月30日、木野会長、稲見、池田、原木副会長の４人で厚労省保育課を訪問しました。厚労省前は新型インフルエンザ取材の報道車がずらっと並び、緊迫した雰囲気がただよう中での訪問でした。

４月から担当課長補佐、係長が異動新任となったため御挨拶と病児保育事業全般に対する厚労省の姿勢をあらためて聞くことが訪問の主な目的でした。平山保育課地域保育係長が主に対応してくれました。

文中の（協：協議会、厚：厚労省）

協：今般の病児病後児保育事情の補助方式の変更について、その趣旨をうかがいたい。どのような経緯であのような変更となったのか？

厚：たくさん預かれば預かるほど赤字が出てしまう、一箇所いくらという制度を改善せねばということで変更を検討した。稼動していない施設へも補助金が支払われているということへの配慮もあった。実績に応じた補助をというのが趣旨。そうはいっても、病児保育室は稼動していればいるほどよいという性格のものではなく、＜あると安心＞という点、地域特性による利用率の違いなどの事業特性は理解している。実績払いという方向性はかわらないが、今回の補助方式については現在問題点をあげ調整中である。今後検討していくので、現場からは是非意見が欲しい。

協：事業の特性を理解して欲しい。キャンセルが多い、流行状況により隔離が必要な場合定員をみたすことが不可能なこともあるなど、安定した利用が困難な事情がある。実績の裏には倍の労力があることを理解して欲しい。

厚：病児保育室は４箇所見学してきた。（福井と大阪）いろいろ忌憚のない意見を聞いてきた。より良い形になるように検討したい。キャンセルが多いのは地方が少なく　都市部が多いようだ。裏付けるデータが欲しい、協議会実態調査などの資料があればうれしい。

協：実績払いの場合、前年度実績ということになるが、新規の場合はどうするのか。

厚：国としては、地方からの交付申請があって決定する。年度がおわってから調整ということになる。新規の場合は、見込みで地方が申請してきたものに基づいて国庫補助決定となる。

協：人員配置が、いきなり２対１から３対１になったのはどういう経緯か。安全を確保するために、いままで赤字をだしながらも一生懸命２対１を保ってきたところが多い。それが、現場には相談なく３対１と変更され、安全性に問題はないといわれても納得できない。

厚：看護師は10対１　保育士は３対１というのが新しい人員配置の基準である。保育所の最低基準（乳児の基準）とした。地方によっては２対１が経済的に厳しくやっていけないという意見がある。一方で、２対１でないと安全性に無理があるという意見もある。地域性もあるため、あくまで概ねと考えて欲しい。

協：それでは、概ね２対１ということにして欲しい。

協：前担当課長補佐は、体調不良児型は保育所に看護師を配置する方策でもあるとおっしゃっていた。今後はどのようにシフトするのか？

厚：保育課としては、保育所型、医療機関型ともにのばしていきたいと思っている。病児保育は、医療と保育と少子化対策にまたがる事業と捉えている。母子保健課から保育課に移管されたが、医療との関係を疎遠にするつもりはない。むしろ、医療機関型であればより安心であり、保育所でも医療との連携が強くなるようにと考えている。

協：利用率を50％と仮定すると、利用人数は約700人になる。700人の補助金額は、今年度の実績払いでは従来より下がる。保育士２人分くらいの金額が下がってしまう。地方によっては止めざるをえないところも出てくると思われる。地域に根付いた病児保育室がなくなってしまうという状況が危惧される。補助金に基本部分を持たせて欲しい。提示された補助金配分では固定費も出ない。運営費の補助もないのだから。

厚：２月27日のものはあくまで案で、より良い形になるよう調整中である。見学に行った施設からも全く同じことを言われている。蓋をしめるまで、いくらもらえるのかわからないのでは不安というのはわかる。適当な所を検討中である。自治体、実施施設の意見を聞いて、できるだけ早い時期に案を出したい。一旦決まったものをすぐにかえるのは簡単でもないので、調整中であるということで理解していただきたい。

協：利用料は事業費の２分の１相当といわれているが、実際には2,000円払うのが限度と思う。

厚：以前、利用料金は2,000円としていたときもあったが、今は決めていない。地方の状況にあわせて、保護者が負担する

か、自治体が負担するか、決めてもらってよい。21 年度の案では、低所得者の減免のみを決めている。減免は生保が 5,000 円、なので、一般の利用料としては厚労省としては 5,000 円程度と考えているということになる。

今回の補正予算案に、＜安心こども基金の拡充＞が組みこまれている。その基金の中には病児保育の拡充という利用案も提示している。

協：病児保育を社会福祉事業にしてほしい

厚：児童福祉事業にはなっているが、社会福祉事業ではない。法律に基づいた規定になっている。

協：厚労省は、病児保育室の数を増やせばよいということではなく、是非その質を確保していってほしい。病児保育は就労支援のセイフティネットではなく、子育て支援のセイフティネットであると、私たちは考えている。

最後に、病児保育協議会はもともと厚労省のパイロットスタディーとしてできたもので、しかも、病児保育の実態が把握できる団体は他にない。今回の制度改正で、協議会に全く何の相談もなく、いきなり様々な変更がなされたのは大変遺憾である。人員配置にしても、当初から２対１の人員配置は必要という立場であった。それが、協議会に何の相談もなく、いきなり３対１にかわってしまったのには驚いた。今後は、現場の意見を聞いて現状に即した補助体制を確立してほしい。変更などにあたっては、是非、協議会の意見もきいてほしい。

以上、いろいろとご苦労されている様子の平山係長でしたが、前任の仕事をひきついで、より良い形に考えて行きたいという姿勢がみえました。また、現場の声に耳を傾けていく姿勢もお持ちのようでした。

その後、川鍋課長補佐にも挨拶をすることができました。川鍋氏は、新制度では定額部分が少ないことに言及し、地方によって人数が少ないところは困っているところもあると思う。一旦決まったことは簡単に動かせないという面もあるが、予算の枠の中でどう配分していくか、今後、現場の意見をききながら調整していくということでした。

今後、実際どのように動いてくれるのか、見守る必要がありますが、病児保育施設側がしかり声をあげていけば、実態に即した対応をしてくれる余地は充分にあると感じました。

## ☆☆ 加盟施設紹介 ☆☆

### 社会福祉法人　岩手愛児会　たんぽぽ病児保育所

たんぽぽ病児保育所」は、盛岡市北部の四十四田ダムを背に岩手山に見下ろされる自然豊かな所にあります。窓の外を雉が走り、まれにカモシカが下りてきます。

平成７年６月岩手県初の病児保育所として共済会を立ち上げ、開所しました。

もりおかこども病院に併設され小児科専門医師がいつでもバックアップしてくれます。

平成９年１月より盛岡市の委託を受け病児のため少子化にもめげず頑張っています。

既存の建物を利用しているため少し古いですが広い保育室で、子どもたちが安心して過ごせるように、看護師・保育士でさまざまな遊具・手作りおもちゃと明るい笑顔でお迎えしています。

所在地：020-0102
岩手県盛岡市上田
字松屋敷 11-14
TEL：019-662-5696

### のぎく保育園　ケアルーム菜ずな

のぎく保育園ケアルームは、保育園開園と同時に任意開設しました。（２００６年５月１日）無認可保育園の時、子どもが病気になった時の保護者の方のしんどさや子ども達の思いを受けとめた時、ケアルームの必要性を感じ、認可が下りた時、建物の設計の段階で組み入れました。

保育園開園と同時に開設でしたが、日々のめまぐるしさで中々手が回らず開店休業の状況ではありましたが、利用された方からは、喜んでもらえ開設してよかったと思いました。

２００７年２月１日に大阪市より乳幼児デイサービスとして認可をもらい、運営費もつきました。２００８年１０月１日再出発をかけ、ケアルームに『菜ずな』と名付け、ケアルーム便りを２０００枚程、地域にまきました。また、ポスターもつくり、あちらこちらに貼らしてもらいました。

『ケアルーム　菜ずな』は、地域に根差し、子ども達の病後を支え、ほっこりできる所と言ってもらえるよう努力をして行きます。

園　長　　川中　清子
所在地：533-0023
大阪府大阪市鶴見区
諸口５丁目 14-6
TEL：06-6913-9622

# 東西南北支部便り

## 北東北ブロックから①

### 第７回北東北病児保育交流会春季研修会

あらいこどもクリニック　病児保育室「きりん」　荒井　宏治

平成21年４月11日に第７回北東北病児保育交流会春季講習会が青森県弘前市で開催されました。今回、帆足英一先生に「新・保育所保育指針を踏まえた保育所、病児・病後児における保健管理」というテーマで講演をいただきました。病児保育や医療保育の分野のパイオニアであり、現在でもリーダーである帆足先生の講演を聞けたことは大変意義のあることでした。

まず平成20年に改正された保育所保育指針の保健や安全管理についての総括的解説がありました。その後、保育の中での与薬、アレルギー対策、母子関係問題などについてやさしく具体的な説明をいただきました。内容は多岐に亘るものでしたが、３時間という講演時間はあっという間に過ぎてしまいました。大変な多忙の中を遠路はるばる来られたにもかかわらず、最後まで時にはきびしく熱心にお話をする先生の姿から、子どもの医療や保育に携わっている人たちへ先生が期待していることを感じました。

昨今の子どもたちは少子化、核家族、子育て環境の多様性という社会的状況の中で育っています。社会から個人へ課せられた役割、個人から社会への欲求は、時として社会の中で一番弱い立場の人、物を言えない人の存在が犠牲にされてしまうことがあります。そうした中、子どもたちが単に大人の都合によって無理を強いらせられている状況を垣間見ることがあります。

おそらく農耕による生計が中心であった昔の社会においては、人との交流や情報も限られたものでしかなかったので、個人の欲求や社会での役割は単純であったのかもしれません。その中で親は子育てを生活の中の一部として自己犠牲を感じることなく、ごく普通の行為として行っていたのだと思います。

しかし現在は社会が複雑になり、我々は社会から課せられた役割に縛られ、良否様々に錯綜する情報によって欲求が刺激され、不安が煽られやすくなっています。また家族の構成や状況の多様性が大きく、それぞれの家庭での子育ての方向を一元的に規定することが難しくなっているのも事実です。

しかしいつの時代でも子どもは常に安定した対応を親に期待していることは変わりありません。子どもはいつも親がそばにいて、何があっても助けてくれると信じているのです。社会的状況が、子育てを家庭の中の個人にすべて負わせるに耐えられなくなってきているのであれば、子どもたちの不安を取り除くために何らかのシステムを社会が提供する必要があります。

子どもにとって全幅の信頼をもっている最初の大人である親との間に不適切な関係が生じれば、その後の大人を見る目、将来的な人間関係などに歪が生ずることは必然です。健全な子どもを育めない社会は、治安、経済、医療、福祉が後退し、最終的には我々に大きな損失を与えるでしょう。そうならないために、子どもの医療や保育に携わる者の責任は大きいはずです。すべての子どもは健全に成長する権利があります。我々にはその権利を守るために子どもの代弁者になることが課せられているのです。

帆足先生には、今後も私たちをご指導していただけるようお願い申し上げます。また私たちも先生のご期待の応えられるように研鑽を重ねていきたいと思います。最後に今回の講習会開催において、大変な労をとられた病児保育協会東北支部会会長の松原　徹先生や病児保育室「ことりの森」のスタッフの皆様に参加者を代表して感謝を申し上げます。

---

## 北東北ブロックから②

### 第７回北東北病児保育交流会春季研修会

明星保育園・病後児保育室プーさんルーム　田中　みちる

私は病後児保育室の経験がまだ短いのですが、今回帆足先生の講習会に初めて参加させてもらいました。

当病後児保育室では、保育士２名看護師１名のスタッフが配置されています。

今回の講習で、保育士が保育面の専門的知識を、看護師が看護面の専門的知識をそれぞれ持っているということだけではなく、お互いが両方の専門的知識を持ちよって保育看護にあたることの大切さを痛感しました。

また、当園では熱性痙攣の既往がある児の痙攣止めと解熱剤の座薬を預かっています。今回の講習会をきっかけに、思わぬ薬効が出る時のことも考え、その子にとって初回使用となる座

# 東西南北支部便り

薬は預かることがないよう、保護者から書いてもらう「座薬保管同意書」に、「今までにその座薬を使用したことがあるか？」という欄を付け加えることとしました。

一貫したしつけでは、キレるこどもが急増してる今日には、とても必要なことだと思いました。子ども自身が自分のわがままを乗り越えることが必要で、自分の感情を自分でコントロールできるよう、親や保育者はついつい手を出したり口を出したりしたくなる場面も多々ありますが、「待つこと」の大切さは重要だと思いました。また、保育の現場では愛着欲求の充足・愛され大切にされている実感や、二次的に母子関係の愛着関係の形成を促進するような働きがけの保育が大事だということを再確認しました。

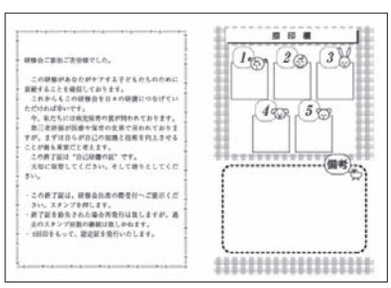
今回の講習会で学んだことと得た事を、スタッフ同士で共有し合い、最近では日々の保育看護の中で、子どもの様子や発達段階、お互いの考えや意見等を話しあう機会も増えてきました。

今回の学びを現場で生かし、これからも安心できる病後児保育を提供できるよう努力していきたいと思います。今後も何か機会があれば研修に参加しながら学びを深めていきたいと思います。

---

## TOPICS

第１９回全国病児保育研究大会に、終了証を持参ください。受付の全国病児保育協議会事務局にて参加確認印を捺印してもらい、５回分たまった時点で協議会事務局に申請していただくと認定証が発行されます。




## 第１９回病児保育研究大会 in 千葉の御案内

**テーマ**　連携の中から明日が見える　－安全で安心の病児保育を育てよう－

**日　時**　平成 21 年 7 月 25 日（土）・26 日（日）

**場　所**　OVTA 海外職業訓練協会（千葉市美浜区日比野１－１）
＜JR 京葉線　海浜幕張駅より徒歩８分　東京駅より快速で 30 分＞

**プログラム**　シンポジウム　「連携から見える病児保育の現在、未来」
＜主な講演＞
「絵本の中の子どもたち」　内海裕美先生（吉村小児科）
「カムジー先生のすくすく子育て」　加村柾弦先生（カムカム島　リズム音楽・研究所）
「子どもの事故は防止できる」　山中龍宏先生（緑園こどもクリニック）
「ちょっと気になる子どもたち」　永沢佳純先生（千葉県リハビリテーションセンター小児科）
　－発達障害の子との接し方－
恒例の企画として
分科会・ポスターセッション・千葉県の施設紹介・広報の部屋・企業展示・書籍コーナー

☆今年は海の日ではなく、土曜日の午後と日曜日の一日半の研修会となります。例年より半日短い開催ですが、その分凝縮した内容の濃い大会にしていきたいと思っています。
☆事前登録は終了しましたが、当日参加もできます。是非ご参加下さい。
☆ディズニーランドのある千葉県へ！みなさま　ふるって御参加ください。
☆詳細については、ホームページでご覧下さい。https://apollon.nta.co.jp/byoujihoiku19/index.html
　病児保育協議会のホームページからも入れます。

## 好評販売中です

**「必携 新病児保育マニュアル」**

●B5 版　３７８頁
●価格　１冊　会員３０００円
（送料・税込み）
非会員４０００円
（送料・税込み）

病児保育に関する事がすべて網羅されたバイブル的マニュアル本です。一人に１冊持っていただきたい必読書です。

**「病児保育１０年のあゆみ」**　残り僅か

●B5 版　１０４頁
●価格は　１冊１６００円
（送料・税込み）

全国病児保育協議会設立１０周年を記念して発行され、設立当初からの歴史を網羅しました。

※ご購入は、全国病児保育協議会のホームページより申込書をダウンロードしてFAX にて全国病児保育協議会事務局までお申し込み下さい。

「施設紹介コーナー」「東西南北支部便り」を連載中！加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させてください。原稿をお待ちしています。

＜協議会ニュース　編集事務局＞

〒531-0076　大阪市北区大淀中３丁目１５－５
（株）関西共同印刷所内　藤本　文孝　宛
TEL.06-6453-3675　FAX.06-6442-5788
E-mail　fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

## 会員専用掲示板利用について

協議会ホームページで会員専用掲示板を公開しています。これまでも多数の方が意見交換等で活用して頂きました。今回さらに多くの会員の皆様に会員専用掲示板を活用して頂くために、ID・パスワードをオープンパスワードとして公開します。多くの会員の皆様のアクセスをお待ちしています。なお、協議会の主旨以外の利用を防ぐためにも会員外の方にID・パスワードを公表しないようにお願いします。ID・パスワードは、定期的に変更しますのでご注意下さい。

ID：「ｂｙ０ｕｊ１」ビーワイゼロユージェイイチ
パスワード：「ｂｙｊ６４２ｈｉｋ５３１」

## ー広報委員会からのお知らせとお願いー

来る７月２５・２６日に開催される研究大会で恒例の「広報の部屋」を開設します。

今回は、「各施設が作っている利用者向けのお便り等の展示」と「全国病児保育協議会のリニューアルホームページの体験」の２本立てで行う予定です。また今回は、各施設のお便り等をその場でコピーもできるようにとコピー機も持ち込みます。

「利用者向けのお便り等」を発行している会員施設の方は是非下記住所まで資料をお送り下さい。お待ちしています。

＜送り先＞
860-0056
熊本市新土河原２丁目 8-34
NPO 法人チャイルドケアサポートみるく
TEL 096-351-8825
担当 永野まで

## 全国病児保育協議会新規加入の施設

439 ◆キッズプラネット
理　事　梶井　真弓
〒 329-0414
栃木県下野市小金井 4-19-6
TEL：0285-44-4888　FAX：0285-44-4888

440 ◆マリア保育園
園　長　射場　ます子
〒 581-0038
大阪府八尾市若林町 1-22-5
TEL：0729-20-2300　FAX：0729-20-3700

441 ◆病児保育室バンビーニ
小児科兼理事　老木　美帆
〒 594-0041
大阪府和泉市いぶき野 1-1-11
医療法人老木レディスクリニック
TEL：0725-55-7115　FAX：0725-55-7116

442 ◆すみれ乳児保育園
園　長　斎藤　和加
〒 036-8062
青森県弘前市青山５丁目 25 番地１
TEL：0172-34-1134　FAX：0172-34-1544

443 ◆病児保育室　さくらんぼルーム
理事長　櫻町　俊二
〒 434-0032
静岡県浜松市浜北区道本 28-3
TEL：053-585-3230　FAX：053-585-2758

444 ◆ちぎら医院　病児保育室　ラビットルーム
院　長　千木良　淳
〒 167-0042
東京都杉並区西荻北 3-4-4
TEL：03-6765-7771

これ以降の加盟施設は次号で

全国病児保育協議会事務局
〒 535-0022　住所：大阪市旭区新森 4-13-17　社会医療法人中野こども病院気付
担当：薮田・堀込　　電話：06-6952-4778　　ＦＡＸ：06-6954-8621